

## データ作成時の注意事項の追加項目です。

下記の効果を使用している場合は回転、移動した時に変わってしまうことがあるので注意してください。  
印刷会社にて面付け作業時のトラブルの原因となる為なるべく**パス化**もしくは**画像化**してください。

- (1) [効果]－[ワーブ]の機能で  
オブジェクトを変形している場合

ABCD

[効果]－[ワーブ]



ABCD

90度回転

ABCD

[オブジェクト]－[アピアランスを分割]  
でパス化した後90度回転

- (2) [効果]－[スタイルズ]－[ドロップシャドウ]で  
ななめ影を付けている場合

ABCD

[効果]－[スタイルズ]－[ドロップシャドウ]



ABCD

90度回転

ABCD

[オブジェクト]－[アピアランスを分割]  
で影を**画像化**した後90度回転

- (3) オブジェクトに塗りでパターンを  
適用している場合



塗り・パターン



移動するだけで絵柄の  
位置が変わってしまう



[オブジェクト]－[分割・拡張]で**パス化**  
パスが複雑になりすぎてデータが重くなる場合は  
[オブジェクト]－[ラスター化]で**画像化**  
(カラーモードCMYK、解像度300ppi以上に設定)

[効果]－[ドキュメントのラスター化効果設定]の解像度がスクリーン(72ppi)の場合、  
「ドロップシャドウ」や「ぼかし」などの効果が粗く表示・印刷されます。解像度は高解像度  
(300ppi)以上がオススメです。

ABC

解像度 72ppi  
(解像度が低い)



ABC

解像度 300ppi  
(解像度が適切)

